

交通安全いきいき情報

平成29年2月号

富山県警察本部交通企画課 (076)441-2211 (内線 5043)



雪道の安全な歩き方



つるつる路面で転ばない心の準備、体の準備をしましょう！

雪が降ると、転倒事故などでけがをする人があとを絶ちません。

転倒事故を防ぐためには、慌てることのないよう時間に余裕を持った外出を心がけ、路面をよく見て確認しながら歩くことです。

そして滑って転ばないための知恵を身につけること、また仮に滑っても転倒を防いだり、転倒しても被害を少なくするための準備をしておくことが大切です。



1 転びやすい場所を知る

● 交差点や横断歩道

交差点の渡り始めと終わりは、段差などで足をとられやすいので気をつけましょう。

また、横断歩道の白線上は氷の膜ができやすく、滑りやすいので注意しましょう。

※ 雪道での転倒は交通事故にもなりかねません。焦って渡ったり、足元ばかりに気をとられたりせず、周囲の車にも十分注意しながら余裕のある横断をしましょう。



● バス・タクシー乗り場

人や車がよく通ったり立ち止まるところは、積もった雪が踏み固められてツルツルになっているので要注意。

● 坂道や階段

大変滑りやすく、転倒しやすい場所です。土や砂などを用意できれば、歩く場所にまくと効果的です。

● 湿った雪に見える路面

溶けているように見えても、実は陽気や融雪剤で一旦溶けた雪が再び冷気で凍っていることがあるので、気をつけましょう。



2 転ばない歩き方をする

● 靴の裏全体で路面をとらえ歩幅は小さく、足の運びは慎重に

靴の裏全体を、路面に置くように重心の移動が小さくなるように、小さな歩幅でソロソロと歩きましょう。



● 凸部に足を乗せない

凸凹状態に凍った路面は、足を取られるとどちらに滑って転ぶかわからず危険です。凸部分に足を乗せないように歩きましょう。

● もしもの「転倒」に備えて…

外出時は、手袋をはめ、手をポケットに入れずバッグ類もショルダー型やリュック状のものにし、両手を自由におきましょう。

また転倒被害の軽減を図るため、帽子や厚めのコートを着用しましょう。

富山県内の交通事故発生状況 (平成29年1月末現在)

区分 年	発生件数	死者数	負傷者数
29年	273件	2人	316人
(高齢者)	49件	0人	45人
28年	236件	5人	281人
(高齢者)	57件	3人	63人

※ 高齢者とは65歳以上の方です。



雪の日は

外出を控えるのが一番！